

問1 物価が上がり続け、景気が過熱しすぎていると判断される場合、日本銀行が行う「売りオペレーション」による影響として正しいものはどれですか。（2020年 愛媛公立入試 類似）

1. 日本銀行が銀行に国債を売ることで、銀行の資金が減り、金利が上がることで企業の借り入れが抑制される。
2. 日本銀行が銀行から国債を買うことで、銀行の資金が増え、金利が下がることで個人の消費が拡大する。
3. 日本銀行が円を売って外国通貨を買うことで、円安を誘導し、日本の輸出企業の利益を増やす。
4. 日本銀行が紙幣を大量に発行して政府に供給することで、政府の借金を肩代わりし、財政の健全化を図る。

問2 あるパン屋において、これまで1,000円で8個買うことができたパンが、社会全体の物価上昇の影響を受けて1個あたりの価格が2倍になったとします。このとき、同じ1,000円で買うことができるパンの個数と、お金の価値の変化について正しく説明しているものはどれですか。（2024年 宮崎公立入試 類似）

1. パンの個数は4個に減少し、お金の価値は下落した。
2. パンの個数は4個に減少し、お金の価値は上昇した。
3. パンの個数は16個に増加し、お金の価値は下落した。
4. パンの個数は16個に増加し、お金の価値は上昇した。

問3 日本銀行、一般の銀行、そして企業の間で資金が循環する仕組みにおいて、日本銀行が「買いオペレーション」を実施したあとの経済への影響として最も適切な説明を選びなさい。（2025年 神奈川県公立入試 類似）

1. 市場の通貨供給量が増えることで金利が低下し、企業が資金を借りやすくなる。
2. 市場から通貨が回収されることで金利が上昇し、企業の過度な投資が抑えられる。
3. 政府が直接企業に資金を供給するようになり、銀行の役割が縮小する。
4. 国債の価値が下落し、銀行から企業への貸し出しが停止される。

問4 2008年に発生した世界金融危機（リーマン・ショック）の影響により、日本の経済成長率の統計において、2009年度はマイナス5.7%という戦後最大の落ち込みを記録しました。この時、日本の景気が急速に悪化した直接的な背景として最も適切なものはどれですか。（2024年 千葉県公立入試 類似）

1. 世界的な不況の影響で、自動車などの輸出が激減したため
2. 消費税率が8%に引き上げられたことで、個人の消費支出が大幅に減少したため
3. バブル経済の崩壊により、国内の不動産価格や株価が急落したため
4. 原油価格が急騰したことで、企業の生産コストが大幅に上昇したため

問5 企業が株式や債券を発行し、証券会社などを仲介役として、家計などの投資家から直接資金を調達する金融の仕組みを何といいますか。（2025年 岡山公立入試 類似）

1. 直接金融
2. 間接金融
3. 公開市場操作
4. 預金通貨

問6 金融の仕組みにおいて、銀行などの金融機関を介さずに、企業が証券市場を通じて家計などから直接資金を調達する方式を何というか、名称を答えなさい。（2018年 徳島公立入試 類似）

1. 直接金融
2. 間接金融
3. 消費者金融
4. 公的金融

問7 企業が事業資金を調達する方法のうち、「間接金融」に分類されるものの説明として、最も適切なものはどれか。（2024年 大阪公立入試 類似）

1. 企業が銀行から融資を受けることで、必要な資金を確保する。
2. 企業が株式を発行し、投資家から直接資金を募る。
3. 企業が社債を発行し、購入を希望する個人から資金を借り入れる。
4. 企業がクラウドファンディングを利用して、不特定多数から寄付を募る。

問8 金融の仕組みにおいて、日本銀行と地方銀行などの民間銀行の役割を比較したとき、地方銀行の業務内容として最も適切な説明はどれですか。（2016年 愛媛公立入試 類似）

1. 家計から預金を受け入れ、それを原資として企業などに資金を貸し出す。
2. 紙幣（日本銀行券）を発行し、通貨の流通量を調整する。
3. 政府の資金を管理し、国庫金の出し入れを行う。
4. 「銀行の銀行」として、他の金融機関に対してのみ資金の貸し出しを行う。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 日本銀行が銀行に国債を売ることで、銀行の資金が減り、金利が上がることで企業の借り入れが抑制される。	景気が過熱し物価が高騰（インフレ）している場合、日本銀行は「売りオペレーション」を行います。銀行に国債を売って代金を回収することで、市場に出回る通貨量を減らします。銀行の貸し出し資金が不足気味になると金利が上昇し、企業や家計はお金を借りにくくなります。これにより、過剰な投資や消費が抑えられ、物価の安定につながります。なお、為替介入や紙幣の発行による借金返済は、通常の金融政策の仕組みとは異なります。
問2	<b>答え 1</b> パンの個数は4個に減少し、お金の価値は下落した。	物価が2倍になると、1,000円という同じ金額で手に入れられる商品の量は半分（この場合は8個から4個）に減少します。このように、同じ金額を支払っても以前より少ない量の商品しか買えなくなる状態は、お金が持っている「物を買う力（購買力）」が弱まったことを意味するため、お金の価値は下落したと判断します。
問3	<b>答え 1</b> 市場の通貨供給量が増えることで金利が低下し、企業が資金を借りやすくなる。	日本銀行が一般の銀行から国債を受け取り、代わりに代金を支払うことで、銀行側の資金に余裕が生まれます。資金が豊富になれば利下げ（金利の低下）が起こり、企業は低い利息で設備投資などのための資金を借りやすくなります。このように、通貨供給量の増加から利下げへとつなげることで、経済活動を活性化させることが狙いです。
問4	<b>答え 1</b> 世界的な不況の影響で、自動車などの輸出が激減したため	2008年にアメリカの金融機関の経営破綻をきっかけとして始まった世界金融危機は、世界的な規模で景気後退を引き起こしました。外需に大きく依存していた日本の製造業は、海外市場での需要減少によって輸出が激減し、その結果、2009年度に極端に低いマイナス成長を記録することとなりました。選択肢にある消費税率の引き上げによる影響は2014年、バブル経済の崩壊は1990年代初頭の出来事です。
問5	<b>答え 1</b> 直接金融	資金を必要とする企業が、株式や債券といった有価証券を発行し、投資家から直接資金を募る仕組みを指します。証券会社は売買の仲介を行いますが、銀行のように「預金を預かって貸し出す」という形態をとらない点が特徴です。これに対して、銀行が間に入り預金を活用して貸し出す仕組みは間接金融と呼ばれます。
問6	<b>答え 1</b> 直接金融	企業が資金を調達する際、銀行に預けられた預金を借り入れるのではなく、株式や社債を発行して投資家から直接資金を得る仕組みを指します。この場合、資金の出し手である家計などは、証券市場を通じて企業の成長性などを判断し、自らの責任で投資を行うことになります。
問7	<b>答え 1</b> 企業が銀行から融資を受けることで、必要な資金を確保する。	間接金融は、銀行などの金融機関が仲介者となって資金を融通する仕組みを指します。一方、株式や社債を発行して市場から直接資金を調達する方法は「直接金融」と呼ばれ、間接金融とは区別されます。
問8	<b>答え 1</b> 家計から預金を受け入れ、それを原資として企業などに資金を貸し出す。	地方銀行は民間銀行の一つであり、一般の個人（家計）から預金を集め、それを必要とする企業に貸し出すことで利ざやを得る営利企業です。これに対し、日本銀行は日本唯一の「発券銀行」であり、政府の資金を扱う「政府の銀行」、他の銀行に資金を貸し出す「銀行の銀行」としての役割を持っており、一般の家計から預金を受け入れることはありません。